

## 資料1- (1)

# 令和2年度 下水道事業会計決算について

1

## 決算書＝「財務3表（財務諸表）」について

決算を説明する書類は「財務3表」や「財務諸表」と言われ、

- ①「損益計算書」
- ②「貸借対照表」
- ③「キャッシュフロー計算書」の3つで説明されます。

また、財務3表は税抜きで表示することとなっています。

公営企業会計においては、民間会計と異なり「予算主義」を取るため、予算に対する決算報告として④「決算報告書」を税込みで作成します。（④は民間にはない）

2

### ①損益計算書とは、

損益計算書は、年度を通じた事業の「成果・もうけ」を示すもの

- 収益（売り上げ）
- 費用（1年間にかかった経費）

$$\text{※収益} - \text{費用} = \text{利益（成果・もうけ）}$$

3

### ①損益計算書から見る決算の状況

令和2年度下水道事業会計の利益「成果・もうけ」は、

**8億1千541万5千円の損失（赤字）**となり、

企業会計に移行した初年度から**6期連続の損失**で、

欠損金（赤字）の累計は、令和2年度末で、

**17億2千105万7千円の損失**になった。

4

## ②貸借対照表とは、

貸借対照表は、ある時点（合志市は3月31日）の「事業の健康状態(安全性)」を示す。左側が「資産の部」、右側が「負債の部」と「資本の部（純資産ともいう）」で左右の合計額が必ず同額になるので、英語ではバランスシートと呼ばれる。

- **資産（事業の財産）**                    **総額 1 8 5 億 8 千 2 9 4 万 3 千円**
- **負債（事業の借入金など）** **総額 1 5 3 億 4 千 1 0 0 万 7 千円**
- **資本（資本金や剰余金）**    **総額    3 2 億 4 千 1 9 3 万 6 千円**

5

## ②貸借対照表から見る決算の状況

### 企業の安全性を見る指標「流動比率」

※流動比率とは、1年以内に返さなければならない「流動負債」に対し、1年以内に現金にできる「流動資産」どれだけ持っているかを表す。

一般的に **150～200%以上あれば安全**といわれる。

- ・ 流動資産（現金・預金など）                    **7億3千106万4千円**
- ・ 流動負債（1年以内の返済金）                **6億9千827万5千円**

$$\text{流動比率(\%)} = 731,064 \div 698,275 \times 100 = \mathbf{104.7\%}$$

※手持ちの現金化できる流動資産が少なく、**安全性に欠ける状態**である。

6

### ③キャッシュフロー計算書とは

キャッシュフロー計算書は、年度を通じて事業に「どれだけ現金が入ってきたか、どれだけ現金が出ていったか、その結果今どれだけ手元にお金があるか」を示す。3つの活動の種類毎に示すことになっている。

- 「**業務活動**」によるキャッシュフロー

本来の事業（下水道使用料など）から、どれだけ現金を得られたかを示す。

- 「**投資活動**」によるキャッシュフロー

新規の整備（建設）がある場合、通常この部分はマイナスになる。

- 「**財務活動**」によるキャッシュフロー

下水道事業会計がどれだけお金を借りたか、あるいは返済したかを示す。

7

### ③キャッシュフロー計算書から見る決算の状況

「業務活動」と「投資活動」と「財務活動」のキャッシュフローの合計が、資金の増加額となる。平成29年度下水道事業会計の資金の増加は、

- 2年度の資金の増加額 △746万9千円

- 元年度末迄の資金の残高 6億3千325万2千円

- 合計 資金の期末残高 6億2千578万2千円

※資金には、一般会計からの繰入5億8千100万円と、企業債の新たな借入4億5千610万円を含んでいる。

8

## ④決算報告書とは

決算書 1～2 ページ

公営企業会計は予算主義を取るため、予算に対する決算を「決算報告書」(税込み)で報告します。(公営企業独自の決算説明書類です。)

### (1)収益的収入及び支出 (通称：3条予算)

経常的な営業収支。主な収入が下水道使用料、支出が維持管理費や人件費など。

### (2)資本的収入及び支出 (通称：4条予算)

新たな投資(建設)や更新(作り直し)にかかる臨時的な収支。既に借り入れた企業債の元金償還もこの支出に含まれます。

9

## ④決算報告書から見る決算の状況

決算書 1～2 ページ

### (1)収益的収入及び支出 (通称：3条予算)

収支は 7億9千473万6千円の損失(赤字)

### (2)資本的収入及び支出 (通称：4条予算)

収支は 2億3千86万円の赤字

(※翌年度へ繰り越す支出の財源に充当する額1億4千485万9千円を除く)

10

## 「公営企業会計の予算のしくみ」

公営企業会計の予算（2種類の収支に分かれて作成される）

(1)収益的収入及び支出（**通称：3条予算**）

**経常的な**営業収支。主な収入が下水道使用料、支出が維持管理費・人件費等

(2)資本的収入及び支出（**通称：4条予算**）

**臨時的な**収支。主な収入は企業債や負担金など、支出は投資・更新的なもの

11

公営企業会計の予算は、

3条予算「**黒字**」、4条予算「**赤字**」  
が基本構造で、

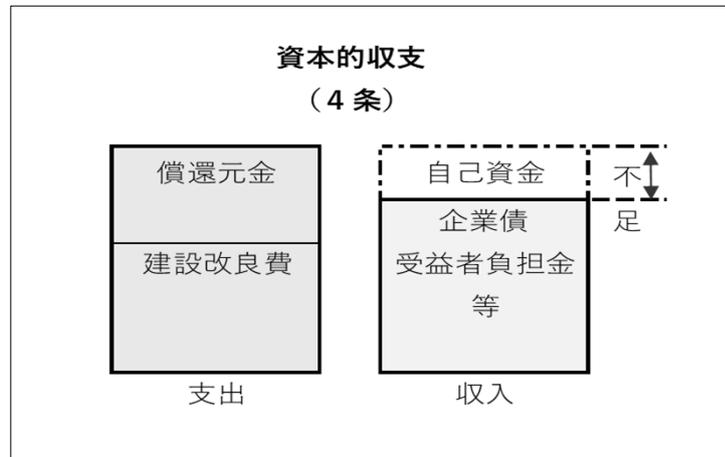
制度上は、3条予算で出した「**黒字**」を、

4条予算の「**赤字（不足額）**」に  
**補てんする仕組み**となっている。

12

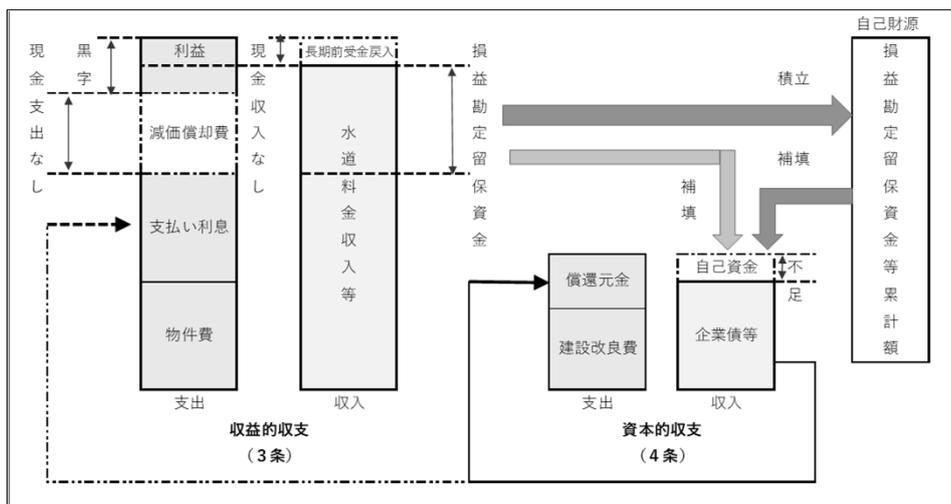


## (2) 資本的収入及び支出 (通称：4条予算)



15

## 公営企業会計の予算のしくみ



16